

パトロール統計2017 on Shingu Beach

○ パトロール総日数

19日間 (7/2・8・9・15・16・17・22・23・29・30・8/5・6・11・12・13・19・20・26・27)

○ パトロール総時間

132時間20分 (平均:6時間58分/日)

○ 総入込数

延べ約6,390名 (パトロール実施日のみの延べ海水浴客数)

○ ライフセーバー人数

延べ170人 (平均:8.95人/日、min2人、max12人)

○ 遊泳条件

遊泳可:10日 遊泳注意:8日 遊泳禁止:1日 (途中変更がある日は、その日のうち一番悪い遊泳条件)

○ 子ども用 PFD 無料貸出

16日:213着

○ アクシデント

重溺者救助	0件	0名
軽溺者救助	2件	2名
安全移送	11件	15名
First Aid	10件	10名
迷子捜索	2件	2名
問題行動等対応	1件	

○ アクシデントの内訳

(※【】内は件数)

救 助	重溺者救助	軽溺者救助	安全移送
泳力不足			2名【2件】
沿岸流に流される		1名【1件】	4名【2件】
風に流される		1名【1件】	4名【4件】
浮具が流される			3名【1件】
飲酒			1名【1件】
クラゲに刺され恐くなる			1名【1件】
合計	0名	2名【2件】	15名【11件】

First Aid	救急要請	病院受診推奨	手当て
クラゲ			1名
トゲ刺			5名
擦過傷			2名
ふじつぼ			1名
その他			1名
合計	0名	0名	10名

問題行動等対応	警察通報	海保通報	LS対応
PWC・船舶の遊泳エリア進入			1件
合計	0件	0件	1件

今シーズンも無事にパトロール中は重溺事故0件で終わることができましたが、パトロール開始の前日7/1には悲しい水難事故が発生しました。平日パトロールの実施やより長期のパトロールを実施できる体制を目指して、クラブの発展が急務であると考えています。

新宮ライフセービングクラブでは、7/1~8/31の海の家「新宮屋」営業日62日中、土・日・祝日の19日間（計132時間20分）に延べ170名のライフセーバーがパトロールを実施し、2名の軽溺者救助と15名の安全移送、10名へのFirst Aidを行っています。今年は大学クラブからの活動協力体制が厳しい環境となり、大学クラブからの参加人員が減り、活動ライフセーバー数は減少しています。

救助件数は年々減少傾向です。これはライフセーバーの未然事故防止活動が功を奏していると考えています。

シーズン	パトロール総日数(時間)	総入込数	延べLS数	平均LS数	重溺者救助	軽溺者救助	安全移送	FirstAid	迷子捜索
H22年	15日(84時間11分)	4,900名	73名	4.87名	0名	0名	11名	10名	0名
H23年	17日(101時間36分)	6,250名	171名	10.06名	0名	2名	42名	8名	2名
H24年	18日(116時間46分)	7,860名	278名	15.44名	0名	0名	26名	4名	1名
H25年	18日(117時間23分)	7,260名	292名	16.22名	0名	0名	30名	6名	5名
H26年	15日(100時間57分)	5,950名	227名	15.13名	0名	0名	9名	15名	4名
H27年	22日(153時間53分)	21,700名	253名	11.50名	0名	5名	17名	10名	3名
H28年	18日(126時間15分)	6,830名	203名	11.28名	0名	3名	22名	18名	4名
H29年	19日(132時間20分)	6,390名	170名	8.95名	0名	2名	15名	10名	2名

今年の溺者17名のうち13名が、沿岸流や風で流されたり、浮具が流されるなどにより、足がつかない水深での救助でした。76.5%もの溺者が不本意に深い水深へ行ってしまい、自力で浜へ戻れない、又は、自力で浮けなくなったものです。

新宮海岸では消波ブロックにより、水深が深い所と浅いところが扇状に変化しています。その水深や沿岸流・離岸流、風の流れについての広報活動が未然事故防止の重要なカギとなります。よって、今後は注意喚起看板の設置やTVなどを活用した、より効果的で有効な広報媒体を検討し、更なる未然事故防止を図っていききたいと考えています。

また、一昨年から子ども用PFDを導入し、パトロール時間中に子ども対象に無料レンタルしています。今シーズンのPFDレンタル利用数は延べ213着であり、子どもたちの安全に大きく貢献できました。今後も積極的に広報し、レンタルを継続していくことで子どもたちの海水浴安全の向上を図っていききたいと思っています。

さらに地域の子どもたちへ、これらの危険性や海での遊び方を伝えていくことも重要な活動であり、これから力を入れていきたい活動です。今シーズンは、8/11-12に「海の水泳教室」、8/26に「ライフセーバーと遊ぼう」を開催しました。

用語の意味

重溺者：意識不明の溺者

軽溺者：意識はあるが自力で浮くことが困難な溺者

安全移送：自力で浮くことはできるが、自ら安全な位置や浜に移動することができない者の移送

First Aid：応急手当（心肺停止以外の傷者に対し、その状態を悪化させないための最低限の諸手当）

PFD：Personal Floatation Device（救命胴衣。通称：ライフジャケット）

2017年 パトロール風景



Fukuoka Shingu Lifesaving Club